



飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

“人類に奉仕するロータリー”

RI会長 ジョン・ジャーム

2570地区ガバナー 前嶋修身

第3グループ
ガバナー補佐 野本俊光

「知恵と元気を」

2718 2016. 9. 21

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天候 曇 (NO. 53-12)

会長 小川晃男 幹事 矢島高明

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 平沼君、半田君

例会場: ホテル・ヘリテッジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail: hannorc@hanno.jp

小川会長
それこそロータリー
小谷野五雄様

先日、梨木さんのご葬儀がございました。入会した頃、ロータリーのいろはから教えて頂いた事を思い出します。ご冥福をお祈りしたいと思います。

先日の母の葬儀には皆様にご会葬賜り、ご

供花頂いた事、御礼申し上げます。有難うございました。

福島喜三次氏は現・一橋大学を卒業後、三井物産に入社。翌年から米国の支社を回り、1912年、ダラスに綿花の買い付け会社を創るとい事でその代表になります。1915年、ダラスRCに入会。日本人初のロータリアンとなる。ロータリアンだったドイツ人社長が第一次大戦が始まるとドイツに帰国し、その後を継ぐ形でした。1917年、米山梅吉氏(三井銀行常務)は政府派遣の財政経済委員の一員として訪米。その際ダラスに寄り福島宅で正月の3日程を過ごします。その時にRCの話がたくさん出たのだらうと思います。「テキサスの野の東や初日の出」当時の米山氏の句。1920年、福島氏は帰国時、RI会長から「日本にもRCを創ってくれないか」との委任



円を頼んでおこう。まずは係長クラスの人に話をし、だんだん上がって最後は当時の土屋知事をお願いに行きました。そして、地権者の所へ行き「県議員になりました。予算も付けました。どうか売ってもらえないでしょうか」と言いました。すると「俺は反対している訳じゃないんだ。倅がうんと言えば良いんだ」と。倅さんの職場に行きますと「親父が反対しているんだ」との事。そこで2人が共に居ると思われる頃に家に行って「お互い『良い』と言っているのだから売って下さい。高く買う事は無理です」と話したら「売ろう」と言ってくれました。すぐに部長に電話して、翌朝7時半に契約書を持って来てもらい、金額が分かってしまうので私は退席して、用地を買う事が出来ました。

結果、毛呂山・越生から飯能までは30分違って来ました。帰りは40分違う。やはり市の発展は基盤整備から入るもの。「教育」「福祉」を唱えたとしても財政が伴っていないければ絶対にダメです。私は、政治というのは細かな事を言うのではなく方向性を付けるものだと感じました。

皆さんはご商売をされている訳ですから、景気変動にはいろんな思い入れがあると思いますが、埼玉県は728万人。47都道府県で5本の指に入る県。それでもあまり豊かではない。就業率も低く、個人所得も少ない。どうすれば良いか？ 圏央道を県内で貫くしかないのです。民主党政権時代「コンクリートから人へ」で圏央道は4年遅れました。倒産した業者もある。

議長にはなかなか出来ません。西部地区と北部地区の議員数を合わせても全体の3分の1。93名中60人は南部と東部地区の議員なのです。予算も3分の2はそこに行っている。政治の世界は数、仲間作りです。相手の嫌な事は言わない、欲しいデータをあげたり等して信頼関係を作り、議長にならせて頂きました。最初に国交省に圏央道の予算を頂きに参りました。当時、民主党の大臣に会うには民主党県議を連れて行かなければならないという事もありました。

圏央道が出来て最近どういう事が変わったか。川越のさつまいもを英国に持っていくと10倍の値段で売れるのです。成田まで1時間20分。成田の倉庫（建設中）に野菜等を持って行き、航空便で海外に持って行っても採算が合う。それが圏央道開通ではないかと思えます。

今、企業は圏央道沿いに来たい。しかし、土地が無い。農地転用の権限を市町村に委譲して欲しいと訴え、やっと「4h以下」に関しては市町村の権限になりました。これが企

業誘致に繋がれば人口が増えるのです。鶴ヶ島の農業大学校を熊谷に行かせたのは私です。跡地に「IHI」が来たら、日高団地の空き家も全部埋まります。住所は鶴ヶ島でも利益を被るのは日高だと思っています。

これからは日高とか飯能とか、各市町村が個別に計画を立てるのではなく、腹を割って、どんなふうに西部地域を発展させていくかを考えないといけないのかなと思います。県議の仕事は市民には分かり難いですがかなり重要です。今、自民党53名の団長を務めさせて頂いております。県職員はまずは県議を立てます。県議は長く続けた方が市のためにはなると思っています。私が沢辺さんに教えて頂いたように、後輩達にも「自分の市をよく知ってくれ」と言っています。人口減をストップさせるのは「ムーミン」か？ 私は雇用の場を増やす事、財政の基盤を作る事だと思っています。

H9年に「市街化調整区域」の規制緩和について質問しました。開発基準の見直しは『埼玉新聞』のトップ記事になりました。日高市の90%は農地＝「市街化調整区域」です。これでは発展する訳がないのです。H15年に“乱開発”と言われた事もありました。

「都市計画法第34条第8号の3」「住宅」、「4」「企業」のどこが違うのか。“企業”には審査会を通さずに許可が出る。2年もかかる地目変更が半年位で出来るのです。日高高校の周りの残土の山を処分するには数億円かかるだろうと言われていたのですが「第34条第8号の3」で“住宅”が出来るようにしました。「市街化区域」を持っている方からは非常に怒られた。ただ「市街化調整区域」の方からは「旭ヶ丘」で5千円の土地が8万円になったと言われました。それで息を吹き返した農家もたくさんあります。全部が良いとは言いませんが、日高市の人口は3,000人増えました。意気込みだけは感じて欲しいのですが、皆さんが動いて頂かないと飯能市は変わりません。市長が一生懸命やったとしてもそうは変わりません。企業のトップの方にこれからもやって頂く事をお願いして、内沼議員と支え合いながら頑張っていきたいと思っています。

